

お知らせ

○「ハッピーコンサート」の日程変更

年度当初の計画では「ハッピーコンサート（希望者による音楽的表現活動発表会）」を6月10日（火）に予定していましたが、こうした意欲的な発表の場を多くの方々に観ていただいているのではないかという思いから、今年度は、日程を変更して学校公開の日【6月21日（土）】に行うようにいたします。何卒、多くの皆様のご参会をお願い致します。

ハ ッ ピ ー コ ン サ ー ト	
変 更 前	変 更 後
令和7年6月10日（火）	→ 令和7年6月21日（土）

※詳しくは、別紙の「ハッピーコンサート日程変更のお知らせ」をご覧ください

感じたことから

○“ありがとう”に“ありがとう”（「あたり前」ではないことへの感謝）

先週の15日（木）と16日（金）に、4・5年生の子ども達が国立夜須高原青少年自然の家において、「自然体験」を行ってきました。「夜須高原記念の森へのハイキング」「野外調理（カレーライス作り）」「キャンプファイヤー」「すべすべコースターづくり（杉の丸太を切って）」「奉仕活動（施設の窓ふき）」等、日頃の学校ではなかなかできない貴重な体験をすることができました。



さて、その「夜須高原青少年自然の家」の掲示板には、

「麻生学園小学校のみなさん、ありがとうございました！」

というタイトルで、昨年の奉仕活動（窓ふき・フロア掃除等）の写真とともに、施設の方からの感謝の言葉が掲示されていました。

※掲示板の写真を撮ったのですがピンボケでした。ごめんなさい。

今年の4・5年生も「施設の利用させていただいて、ありがとうございました」という感謝の気持ちを込めて、自然の家の窓をしっかりと磨き上げました。“Before”“After”ではありませんが、「何ということでしょう！」というくらい窓がピカピカになりました！子ども達も、きっと気持ちがよかったことと思います。

こうした感謝の気持ちを込めた活動に、施設の方々は、さらに“ありがとう”の気持ちを表すため、掲示板に本校の活動を掲示してくださったのだと思います。その気持ちに、私達はさらにさらに“掲示してください、ありがとうございます”という気持ちでいっぱいになりました。（感謝の気持ちの連鎖に、きりがなくなってきましたが…）



施設の方々が、“活動の説明”“食事・入浴の準備”“宿泊しての見守り”“貴重なお話”等、数々のことをしてくださったことを「あたり前」と思っでは、そこに人と人との温かなかわりは生まれてこないでしょう。私達は、日常の生活の中でも次のようなことを大事にしていければと思います。すなわち、

- ① まず、周囲の方々が自分のためにしてくださっている様々なかかわりを“あたり前”ととらえるのではなく、“ありがたい”という気持ちをもつことができるような“謙虚な姿勢”を欠かさないこと。
- ② 次に、“ありがたい”という気持ちを何らかの“言葉や行動”（今回の自然体験では「奉仕活動」）で表すこと。
- ③ そして、そうした自分の感謝の行動を“「らせていただいた」もの”としてとらえておくこと。

今回の「奉仕活動」は、学校の活動として計画されたものです。今後は、様々な場面で、自分自身の謙虚な姿勢から、周囲のかかわりに感謝の気持ちを持ち、それを言葉や行動で表すことができれば、一層素晴らしいと思います。